

日本音楽表現学会

第5回(火の国)大会要項

期 日：2007年6月16日(土)～17日(日)

会 場：熊本大学 大学教育センター F棟

日本音楽表現学会第5回（火の国）大会プログラム

6月16日（土）	12:30	開場・受付	1Fロビー
	13:00	開会式	F-501教室
		オープニング演奏「清正公太鼓」	
		ごあいさつ	会 長 中村 隆夫 実行委員長 吉永 誠吾
13:15-14:00		基調講演	松原 千振 氏
		フィンランドでの体験-TAPIOLA合唱団と共に-	
14:00-15:30		シンポジウム	
		日本の合唱の問題点と展望	
15:45-16:45		総 会（当日資料配付）	
		1. 開会の辞	
		2. 議長選出	
		3. 報 告	(1) 2006年度事業報告 (2) 第4回（グリーン・アベニュー）大会決算報告 (3) 2006年度会計報告・監査報告 (4) 2007-8年度編修委員会委員 (5) その他
		4. 協 議	(1) 2007年度事業計画（案）について (2) 第5回（火の国）大会予算について (3) 2007年度予算（案）について (4) 第6回大会開催候補地について (5) その他
		5. その他	
	17:00-18:30	分科会Ⅰ	大学教育センターF-501, 音楽棟合奏室
	19:00-21:00	懇 親 会	大学生協レストラン
6月17日（月）	9:00	受 付	
	9:15-10:45	分科会Ⅱ	大学教育センターF-501, 402, 302
	11:00-12:30	分科会Ⅲ	大学教育センターF-501, 402, 302
	13:30-15:00	分科会Ⅳ	大学教育センターF-501, 402, 302
	15:15-16:45	分科会Ⅴ	大学教育センターF-501, 402, 302
	16:45-17:00	閉 会	大学教育センターF-501, 402, 302

オープニング演奏：「清正公太鼓」

清正公を音読みして「せいしょうこう」で、それがなまって「せいしょこだいこ」と称しています。加藤清正公ゆかりの本妙寺で練習させてもらい、本妙寺や清正公ゆかりの加藤神社でたびたび演奏させてもらっていますのでこの名前を使わせていただいております。清正公との関係はそれ以上のことはありません。おはやしとおいわけを私が作っています。（吉永誠吾）

分科会のプログラム

CP:共同研究 WS:ワークショップ PP:研究発表 PS:パネルディスカッション

分科会 I 6月16日(土) 17:00-18:30

司 会 会 場

- WS 松原 千振 北欧, バルト諸国の合唱 佐々木正利 F-501
 WS 吉永 誠吾 作ってみよう, 吹いてみよう, 水道管のフルート 北山 敦康 音楽棟合奏室

分科会 II 6月17日(日) 9:15-10:45

- CP 加藤晴子+長坂由美(友球) 声の音楽表現の東西比較 草下 寛 F-501
 —オペラアリアと義太夫節のサワリを例に—
 PP 小畑 郁男 拍節構造の階層性と音楽表現—演奏解釈の側面— 大槻 寛 F-402
 PP 阿方 俊 ハイブリッド・オーケストラの演奏形態について
 —弦楽器と電子オルガンによる演奏形態を中心に—
 PP 新山王政和 異なる音色の間で出現するピッチ近くの違いに関する 柳井 修 F-302
 実験的研究—補完実験の結果を加えて行った再考察の報告と提案—
 PP 田島 孝一 "Finger-walking Method" (指歩き奏法) の指導法

分科会 III 6月17日(日) 11:00-12:30

- PP 應和 恵子 教員養成における学生の総合的な音楽能力の育成 佐野 仁美 F-501
 —総合芸術(オペラ)の授業実践から—
 PP 内田陽一郎 肥後の国八代のキリシタン殉教者竹田アグネスについて
 PP 李 敬美・中村 滋延 韓国伝統打楽器を用いた新たな表現の可能性 安田 香 F-402
 —デジタル影絵劇《ランカ島の戦い》における試み—
 PP 陳 敏 中国の安塞腰鼓学習による異文化理解と自文化理解
 —中日の授業実践比較—
 PP 今 由佳里 スイス・フランス語圏の学校音楽教育における表現学習 杉江 淑子 F-302
 —「ジュネーヴ州の小学校における習得目標」の分析を通して—
 PP 香曾我部琢 幼児の即興的な音楽表現における音楽的発達についての—考察
 —幼児の旋律創作場面におけるエスノグラフィーより—

分科会 IV 6月17日(日) 13:30-15:00

- PP 阿部亮太郎 三善晃の'60年代末の作品の性格とその和声的特徴について・・・荒川 恵子 F-501
- PP 小野 亮祐 ドイツの教則本研究とその展望
- PP 河本 洋一 日本語歌唱における発声と発音の統合的教授法の検証的研究・・・林 睦 F-402
-2 -発声と発音を統合的に教授する方法の具体的検討-
- PP 桂 博章 実地指導講師による踊りの指導の効果
-秋田県羽後町の西馬音内盆踊の場合- (仮題)
- PP 鈴木慎一郎 保育者養成短期大学における「表現実践力」育成の試み・・・豊田 典子 F-302
-幼児曲のグループ発表を事例として-
- PP 伊達 優子 保育者養成校における主体的音楽表現を志向する
授業構想に関する一考察(2)
-ピアノ表現に対するイメージ描画学習の有効性とその発展-

分科会 V 6月17日(日) 15:15-16:45

- WS 谷口 雄資 情緒表現から入る指揮法指導 森川 京子 F-501
-音をイメージする力を用いて-
- WS 寺内 大輔 声の表現の可能性
-フリー・インプロヴィゼーションの現場から- 坂東 肇 F-402
- PD 権藤 敦子 聴衆と異文化受容-21世紀の音楽の在り方を見つめて- F-302
伊野 義博
小西 潤子
杉江 淑子

デモンストレーション 6月17日(日) 午後 於:F棟ロビー

